

意見交換会（宇治市都市計画マスタープラン）議事録
対象：白川地域

日時：2021/10/21 15：30～17：00

会場：白川集会所

参加者：2名（時間内での個別の意見交換会を実施）

宇治市：米田副部長、中本副課長、森田係長

発言者	意見
参加者①	<ul style="list-style-type: none"> ・白川集会所は、防災拠点や避難所となる地域にとって重要な施設であるが、現在の場所は地盤が低く寺川の屈曲部にあることから大雨の際には危険な位置であり、耐震的にも問題があります。 ・現在白川区では集会所の建替えの取組みをしているため、宇治市の支援をお願いしたい。 ・新名神高速道路宇治田原 IC 整備後は、宇治市内には宇治白川線を通行する車の流れが多くなることが予想されます。それに伴い、白川区内を通過する車両や渋滞が発生することを心配しています。 ・新名神高速道路も含めた広域的な交通ネットワークの検討をして欲しい。また、白川区内に通過交通が流れてこないような対策をして欲しい。
宇治市	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ助成を活用した集会所の建て替えであり、今年度建て替えが完了できるよう関係部署との調整など支援をしていきます。 ・令和 5 年度に新名神高速道路が全線開通することで、ヒト・モノの新たな流れが生まれ、観光や工業、商業など多岐に渡る波及効果が期待されます。 そのため、都市計画マスタープランにおいて、宇治市市街地と新名神高速道路のインターチェンジを結ぶ、「新たな幹線道路」を設けることで、府南部地域の経済活動の活発化につながるヒト・モノの新たな流れをつくるとともに、周辺市町との連携や、緊急交通路として役立つ広域道路ネットワークの構築が必要と考えています。広域的な道路計画となることから、京都府や周辺市町村と連携して問題の解決に当たっていかねばならないと考えています。 ・また、主要な交通の流れが生活地域の中に入り込んでいる問題があることから、しっかりとした幹線道路を整備し、地域の道路と役割分担することが必要であると考えています。
参加者②	<ul style="list-style-type: none"> ・重要文化的景観地区の取組みを頑張って欲しい。

	<ul style="list-style-type: none"> ・白川には歴史的遺産や街並みがあり、それらの白川の良さを活かしたまちづくりをして欲しい。 ・白川の茶園は、規模や周辺環境を含めて観光客に見てもらえる市内唯一の場所だと思う。お茶の白川として頑張れるようなまちづくりをして欲しい。 ・若手茶農家と宇治市が意見交換を行う場を設けて欲しい。
宇治市	<ul style="list-style-type: none"> ・惣門の改修工事などの取組を支援するなど、重要文化的景観地区の取り組みを実施してきました。今後も地域と共に白川のよさを活かしたまちづくりに取り組んでいきたいと考えています。 ・これまで地区まちづくり協議会を中心とした白川区の皆様と定期的に意見交換会を開催してきましたが、新型コロナの影響で意見交換会を開催することができませんでした。今後、感染状況などを見ながら地域の意向を踏まえて意見交換会を再開していきます。 ・また、農業振興施策として農林水産業者向け新型コロナウイルス感染症に関する支援策なども取り組んでおります。